

よくあるご質問

Q 大学院にはどのような人が入学していますか？ 福祉または心理系の学部を卒業していませんが学べますか？

A 大学を卒業したばかりの方のほか、医療・福祉従事者をはじめ、社会福祉士や精神保健福祉士の有資格者、教員、公務員や一般企業勤務の方、子育て中の方など、さまざまな経歴を持つ方が学んでいます。また、福祉・心理系以外の学部出身者（法学部、経済学部等）も入学しており、それぞれの実務経験や問題意識を活かしながら研究を進めています。

Q 仕事をしながら学ぶことはできますか？

A 可能です。通信制大学院生の多くは、働きながら学んでいます。授業の一部にオンデマンド講義を採用する科目も多く、対面講義は土日を中心としています。また、研究指導についても担当教員と相談しながら、メールやリモートでの指導も取り入れながら進めることが可能です。

Q 大学を卒業していませんが、大学院への進学は可能ですか。

A 最終学歴等によりましますので、P.17 の出願資格をご確認ください。(8) または (9) に該当する方は、出願資格審査のうえでご出願の可否をお知らせいたします。詳細は P.17 の (8) (9) および【注 2】を必ずご確認ください。

Q 研究テーマは入学前に決めておく必要がありますか？

A 出願時には研究計画書の提出が必要ですが、入学後の学びや指導教員との相談を通じて研究内容を深めたり、方向性を調整したりすることが可能です。

Q 教科書代・スクーリング受講料は別に必要ですか？

A 各科目の教科書代金・スクーリング受講料は、学費の中に含まれています。

Q 修了までに、来校は何回程度必要ですか？

A **社会福祉学専攻**

- 全ての科目でスクーリング(オンデマンドと対面の混合型)があり、多くの科目で会場での授業が1日あります。科目によっては、対面授業は全てリモートで受講が可能な科目、会場での受講が2日間の科目がありますので、選ぶ科目によって来校の回数は異なります。
- 「研究指導(論文指導)」科目は、1年生で3回、2年生で4回対面授業が必須です。

福祉心理学専攻

- 受講する科目数やスクーリングの開講形態および面接指導等のリモート数により変動します。例として下記をご参照ください。
- 1 年目：研究法の科目 2 日間(1 回)、演習科目 2 ～ 3 日間(連続の場合 2 ～ 3 回)
- 2 年目：面接指導(リモート 2 回・対面 2 回の場合) 2 日間(2 回)、口述試問 1 日(1 回)

Q パソコンは必須ですか？

A はい。インターネット環境も必要となります。詳細は P.20 の「出願上の注意事項」および「パソコンやインターネットの推奨環境」を必ずご確認ください。

Q JRを利用する場合、学割は利用できますか？

A 通信制大学院の学生に対する学割証(乗車区間が片道 100km を超える JR 線を利用する場合に、乗車券を 2 割引で購入できる割引証)は、スクーリング・面接指導・口述試問等学校行事に参加する場合に発行できます。

Q 認定社会福祉士研修認証科目の単位数は、P.7 の授業科目一覧の「単位数」と同じですか？

A いいえ。授業科目一覧の「単位数」は大学院修了までに必要な単位数(修了要件単位)となり、認定社会福祉士研修認証科目の単位数とは異なります。

認定社会福祉士研修認証科目の単位数は下記のとおりです。

- 1 単位：修士論文研究計画法概論、福祉プログラム開発と評価、生活困窮者支援と貧困研究、子ども・家庭と女性福祉研究、高齢者福祉研究 I、障害者福祉研究 I、地域福祉研究、医療福祉研究 I
 - 2 単位：ソーシャルワーク論、社会福祉法制・権利擁護研究
 - 6 単位：社会福祉学研究演習 I・社会福祉学研究演習 II・研究指導(論文指導)
- (※ 3 科目全て学修修了および修士論文完成で 6 単位)